

音楽理論

教科	音楽理論	単位数	2 単位
学科・年次	普通科 3 年次	必修・選択	選択

1. 目標

音楽に関する基礎的な理論を理解させるとともに、表現と鑑賞に活用する能力を養う。

2. 学習計画

月	題材名	教材名	学習活動
4	オリエンテーション 楽典基礎（復習）	鍵盤と音名 楽語基礎、他	授業の心得、学習内容の確認。 音楽Ⅰ・Ⅱで学んだ楽典基礎内容の確認、及び復習。
5	楽典応用 ソルフェージュ	音名（各国語） 度数①	日本語、イタリア語、ドイツ語、英語による音名（派生音含む）、度数の数え方等を学ぶ。 簡単な音当て（4音まで）。
6	楽典応用 キーボード	度数②	度数（派生音含む）
7	コード奏（コード）	既習曲	既習曲に簡易伴奏をつける方法を学び、キーボードで演奏する。
9 10	楽典応用 ギターでコードを押さえよう	三和音 コードの仕組み	度数から応用させ、三和音の判定の仕方を学ぶ。 さらにコードの仕組みに発展させ、理解を深める。 ギターで実際に弾いて、原理を体感する。
11 12	創作	各音楽理論書	創作に必要な知識を確認する。 コードを元にメロディーと伴奏を組み立てる。
1	創作作品を演奏しよう	創作作品	各自、得意な楽器で担当パートを練習する。
2	創作作品を演奏しよう （合奏）	創作作品	各パートを合わせて合奏する。
3	創作作品合奏 1年間の反省	創作作品	人前で演奏する機会を設ける。

3. 評価の観点及び評価方法

評価は4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	芸術的な感受や 表現の工夫	創造的な 表現の技能	鑑賞の能力
音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心をもち、意欲的に音楽活動をしようとする。 音楽の組み立て方等に関心をもち、それらを生かして意欲的に創作をしている。	個性豊かで創造的な音楽活動の工夫をしている。 音楽の諸要素を知覚し、それらが生み出す表情の変化を感じ取って、創作を工夫している。	自己のイメージをもって創作する技能を身につけている。 創造的な表現をするための技能を身につけている。	芸術を幅広く理解し、多様な音楽や音楽文化の美しさを深く味わって鑑賞する。 楽器の特性と表現効果を知覚し、それらが生み出す曲想や美しさを感じることができる。